

発行:大阪YWCA平和・環境部委員会  
パレスチナグループ  
☆「りさーら」とはアラビア語で  
「手紙」「伝言」という意味です。



〒530-0026 大阪市北区神山町11-12  
06-6361-0838 fax06-6361-2997  
e-mail info@osaka.ywca.or.jp  
http://osaka.ywca.or.jp

## 「なかったこと」にしないために

～私がパレスチナのアーティスト T シャツを作った理由～

清水有理 (BDS Japan Bulletin メンバー)



2018年夏から2019年春にかけて半年間、パレスチナ西岸地区に留学をした。西岸地区の街では度々、手仕事の石鹸やオリーブオイル、アクセサリなどを販売するイベントが開催され、地元の人や留学生、観光客で賑わう。私はナブルスという街のイベントで、今回のTシャツのデザイナーであるランドさんと知り合った。彼女が出品していたのは、古い写真を使ったコラージュのポストカード。民族衣装に身を包んだパレスチナの女性の写真が、花やアラビア書道と組み合わせられたデザインで、写真が撮影された都市名が右下に小さく書かれていた。ベツレヘムの女性の写真は背の高い帽子のような飾りが目を引き、ラーマッラーの衣装は白地に赤の刺繍が際立つなど、都市による伝統衣装の違いが垣間見えて面白い。ランドさんのデザインに限らず、パレスチナでは若い世代で自文化に関心を持つ人が多い。ラーマッラーでは、ウード（アラブの弦楽器）やダブケ（伝統的なダンス）を学ぶワークショップやパレスチナ映画の映画祭など、文化イベントがよく開催されていた。こういった若者のパレスチナ文化への思いは、土地と生活を失った歴史と、直接的・間接的な暴力を被る日常を持つがゆえの危機感によるものかもしれない。占領者イスラエルの視点からは、ときにパレスチナ人は「いない」ことにされる。それは「彼らはパレスチナ人ではなくアラブ人なのだから、周辺のアラブの国に移住すればよい」という言説である。このようにいつ「なかったこと」にされるかも分からないパレスチナ人にとっては、パレスチナ文化を編んでいくこと自体が、抵抗であり挑戦だ。この危機感は、今年5月のエルサレムやガザへの攻撃と、各地で起きた抗議活動への暴力的な鎮圧の最中にも顕著にみられた。パレスチナの若者はSNSを駆使し、とにかく日々、イスラエル軍による暴力や逮捕の現場を記録した大量のビデオや写真を拡散したが、彼・彼女たちが最も恐れていたのは、国際社会の記憶からパレスチナが消去されることだった。



BDS Japan Bulletin でTシャツの販売を開始したのは、イスラエル製品のボイコット等を訴える活動の宣伝だけではなく、パレスチナの若い世代が自分たちのアイデンティティの存亡を賭けて継承し、また新たに作ろうとしているパレスチナ文化に少しでも資することが出来たら、という思いがあった。パレスチナのものを買うという行為は、ささやかながらパレスチナ文化の将来に貢献する。採用したデザインの一つは「パレスチナ産 (Made in Palestine)」を意味するアラビア語。パレスチナ産の文化も生活も人々も、実在するのだ。なかったことにされてはならない。

(清水有理さん '97年生まれ。好きなものは酸辣湯麺。)



Tシャツのデザイン。左はパレスチナの土地と「忍耐」の象徴であるサポテン柄。右は「Made in Palestine」を意味するアラビア語のロゴ。「サポテン」3500円、「Made in Palestine」3000円で発売中。  
購入についてはQRコードからHPをご参照ください。

BDSとは…パレスチナからの呼びかけで始まった国際的なキャンペーン。占領に抗しイスラエルに対するボイコット、資本の引揚げ、制裁を求めています。BDS Japan Bulletinは、Facebookやツイッターなどを通してBDSやパレスチナに関する情報を発信する市民運動です。日本語で読めるパレスチナニュース満載。

## オンライン「パレスチナ女子会」実施報告

パレスチナに関心があるメンバーが、お茶を飲みながら思いを馳せたり、時にはゲストを招いてお話を聞いたり…大阪YWCAパレスチナグループではその集まりを「パレスチナ女子会」と呼んで、不定期に集まってきました。コロナ禍により、初めてオンラインで開催され、遠方の人とつながることができました。

シリア内戦勃発から10年という節目の2021年3月に熊本YWCAで「シリアの手仕事展」が開催されました。発起人である、成田眞弓さんに、現在も続くシリア難民の困窮や、歴史ある手工業を守るために以下のフェアトレード団体等を立ち上げた経緯等をお聞きしました。HPやfacebookから、フェアトレード商品のオンラインショッピングが可能です。興味のある方はインターネットで検索してみてください。



イブラ・ワ・ハイト HPより  
見ているだけで楽しい手作り  
刺繍製品の一部

### ☆「イブラ・ワ・ハイト」

アラビア語で「針と糸」の意味のこのサイトでは、シリア難民女性による刺繍製品を販売しています。

### ☆「ダマシュキエ」…DAMASHQUIE 寄せ木細工を使用したピアス等を販売しています。

発起人の成田さんがシリアの職人たちと出会った思い出のダマスカスにちなんだ名前のサイトです。

日本YWCA・パレスチナYWCA共催  
オンライントークイベント 6月26日(土)

「空爆・停戦から1か月、若い女性  
たちが語るガザと東エルサレム」

強制立退き要求を受けるシェイク・ジャッラのリームさん。イスラエル兵や入植者から嫌がらせや攻撃を受け、道路は封鎖、住民以外は出入りできず、支援者は別ルートで入るしかない状況とのこと。ガザのカリマさん。心の拠り所だった赤十字の病院への空爆、自宅も破壊され、粉塵の中手探りで壁を伝い逃げたこと、外に出ると同様に逃げ

惑う人たちの中に子どもたちもいたこと…。コロナ禍について聞くと、YMCA 職員のニダールさんから、ワクチンが全く足りていない状況を聞きました。ウェビナー最後に、ささやかでも私たちにできることをしていきますとお伝えしました。

パレスチナグループは仲間募集中

パレスチナの声を身近に感じて、私たちにできることは何かを足元から考えたく、緩やかに声をかけあって集まっています。年に1回程度この「りさーら」を編集しています。興味のある方、ぜひお気軽にご連絡下さい。

大阪YWCA平和・環境部委員会(担当:桑原)  
TEL06-6361-0838 fax06-6361-2997  
e-mail info@osaka.ywca.or.jp

Keep Hope Alive! 希望を絶やさないために…  
あなたも参加しませんか?

パレスチナYWCAと東エルサレムYMCAが共同で世界に呼びかけている「オリーブの木キャンペーン」。イスラエル軍により根こそぎにされたその場所に、オリーブの苗木を送るための募金運動です。3,000円で1本の苗木を送ることができます。詳しくは日本YWCAホームページをご覧ください。